

Asahi**KASEI**

# サステナビリティ 説明会

代表取締役社長  
**小堀 秀毅**

2021-11-29

# 目次

---

1. サステナビリティへの基本的な構え
2. 持続可能な社会への貢献による価値創出
3. 価値源泉の基盤
4. おわりに



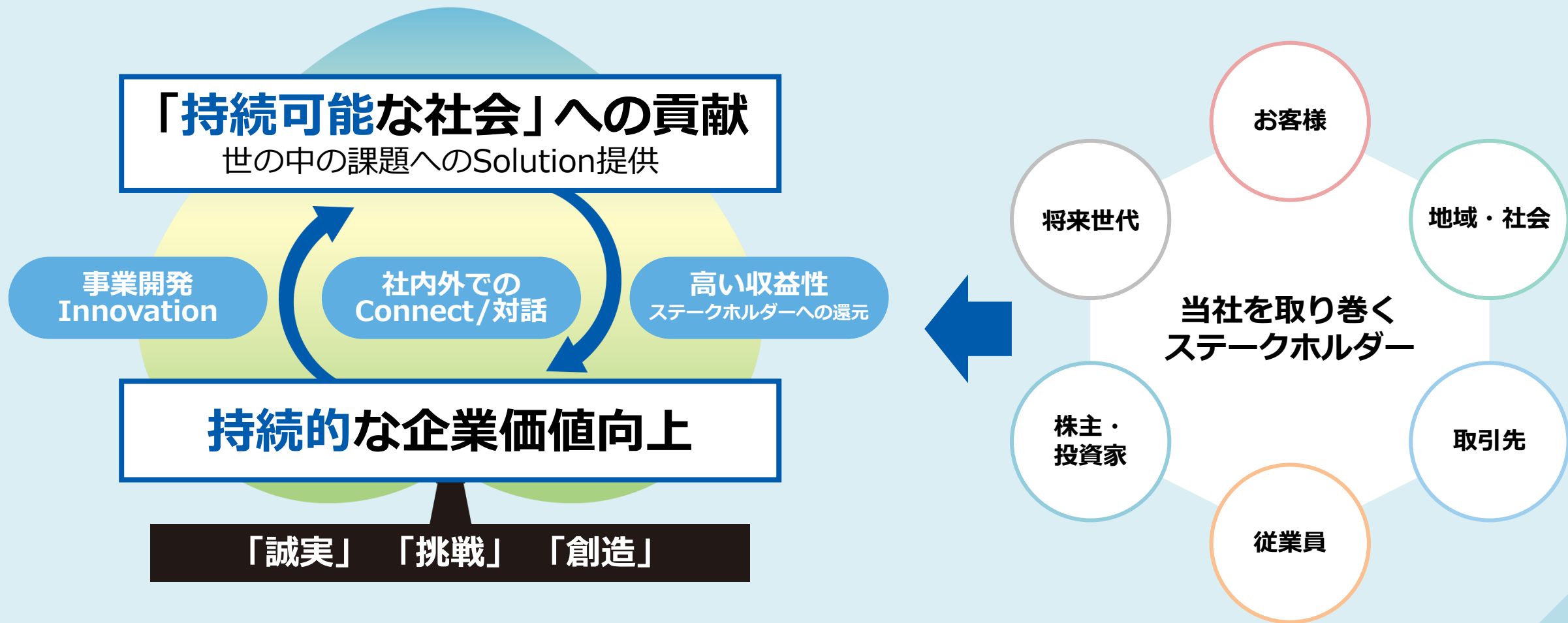


# サステナビリティへの 基本的な構え



Photo from Sage Automotive Interiors Spain

ステークホルダーからの期待に応え、責任を果たすべく、  
2つの持続可能性（サステナビリティ）の好循環を追求する



# サステナビリティ基本方針

旭化成グループは、「世界の人びとの“いのち”と“暮らし”に貢献」するため、「**持続可能な社会への貢献**」と「**持続的な企業価値向上**」の2つのサステナビリティの好循環を追求します。価値ある「**持続可能な社会への貢献**」が、高い収益性を伴う「**持続的な企業価値向上**」をもたらし、これが更なる貢献への挑戦を可能にしていく姿です。

**当社グループは、その実現に最適なガバナンスを追求するとともに、以下を実践していきます。**

## 【持続可能な社会への貢献による価値創出】

- 人と地球の課題解決を、付加価値の高い事業ドメインにより、追求します [Care for People, Care for Earth]
- 当社グループの特長である多様性と変革力を価値創出に活かします [Connect, Communication, Challenge]

## 【責任ある事業活動】

- 法令を遵守するとともに、企業活動に関する国際規範を尊重します [Compliance]
- 環境保全、保安防災、労働安全衛生、健康、人権、品質保証に、あらゆる事業活動で配慮します
- ステークホルダーへの適切な情報開示と対話を行います

## 【従業員の活躍の促進】

- ダイバーシティ&インクルージョンを重視します
- ひとり一人の成長・活躍・挑戦を促進します

## サステナビリティの重要性はさらに向上

### COVID-19

「いのち」「暮らし」  
の持続可能性の  
危機

### 気候変動

1.5℃目標への  
努力追求の決意  
(COP26)

### 人権

サプライチェーン  
を含めた  
人権意識の向上

### 資本市場からの 期待

ESG投資の増加

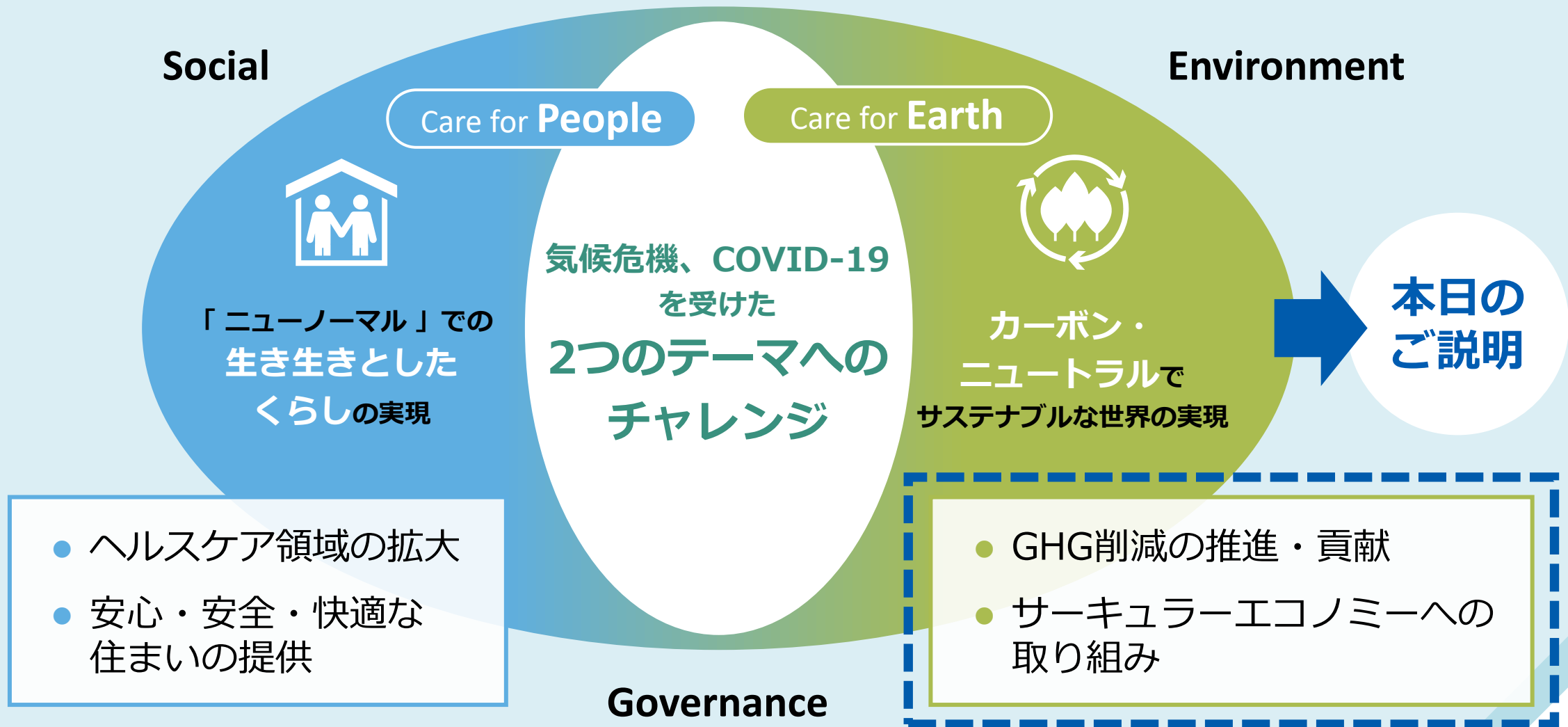
2つのサステナビリティの好循環により、社会からの期待に応える



# 持続可能な社会への 貢献による価値創出



## ESGの観点を踏まえた旭化成ならではの社会課題解決に取り組む

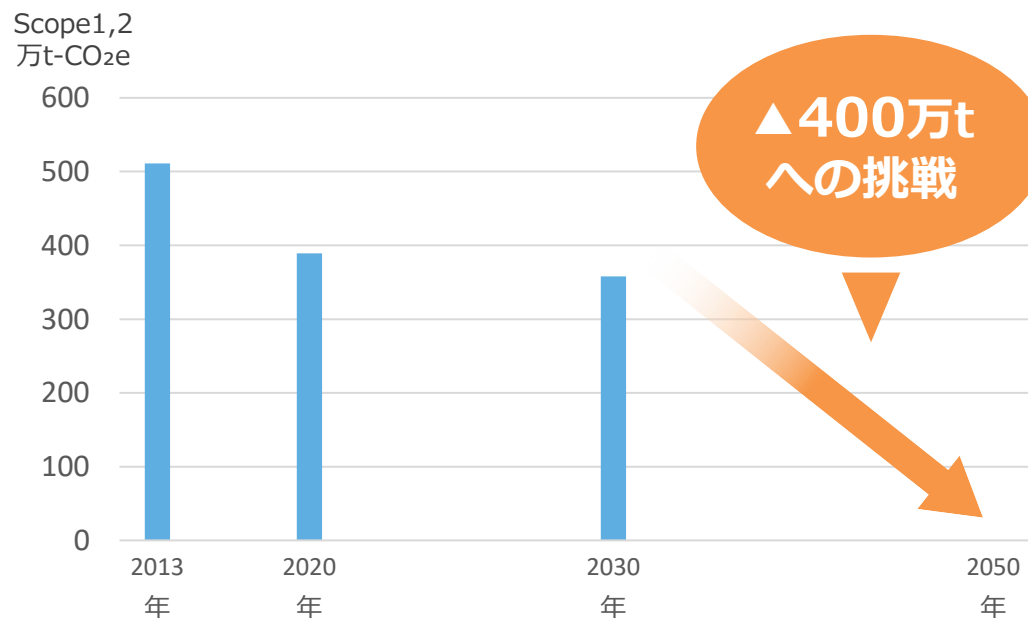




## GHG削減に向けて2つの取り組みを推進する

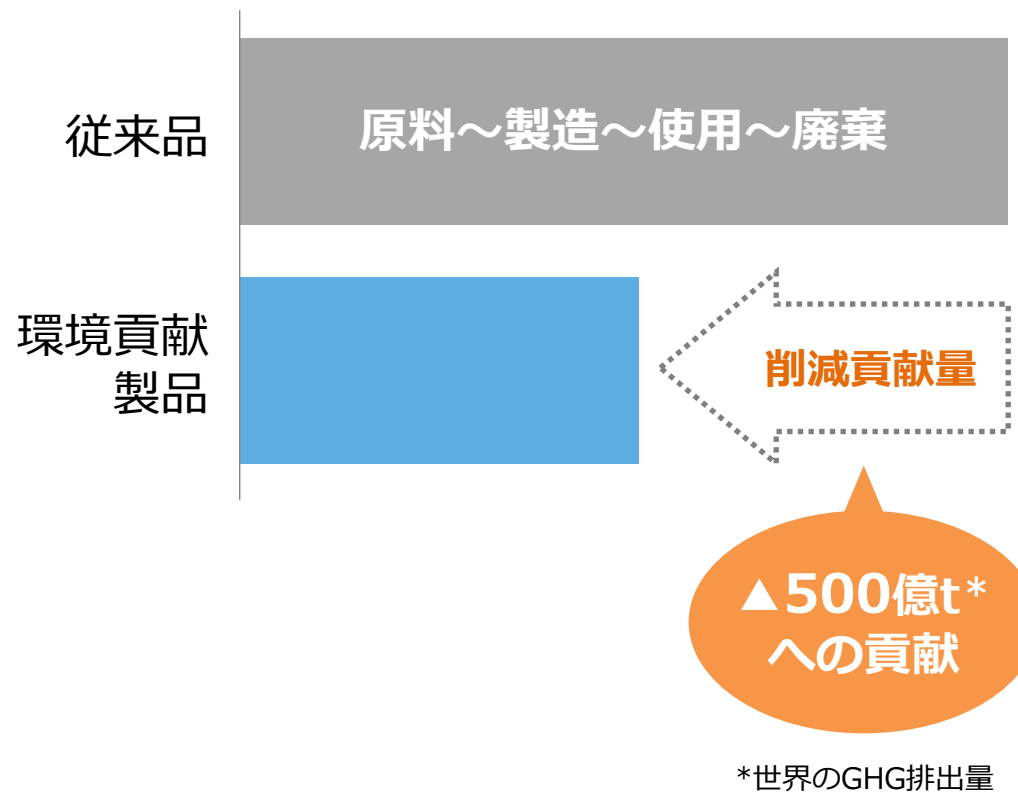
## 当社のGHG排出量削減

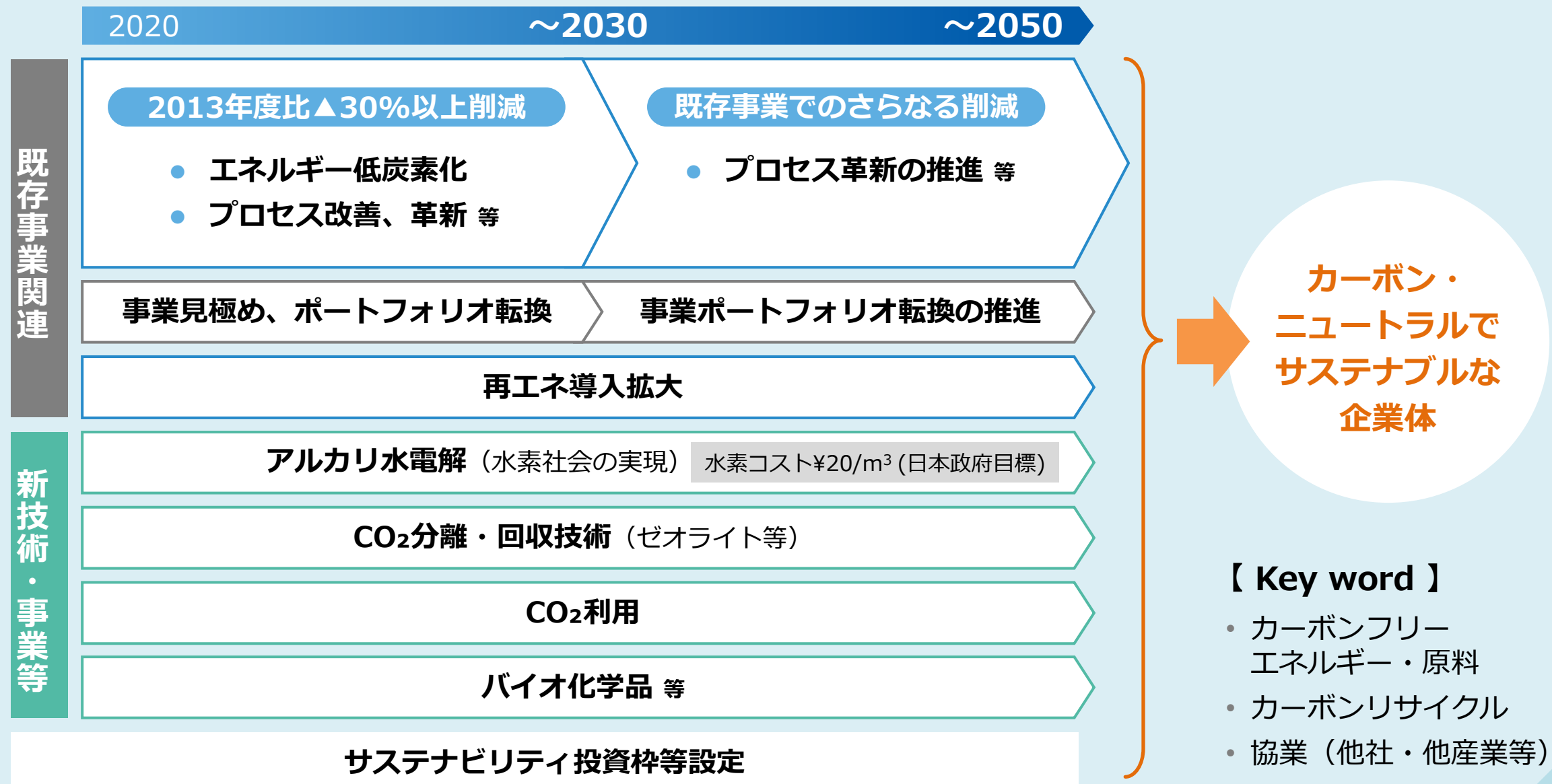
- 2050年 カーボン・ニュートラル
- 2030年 ▲30%以上 (対2013年度)



## 社会のGHG排出量削減への貢献

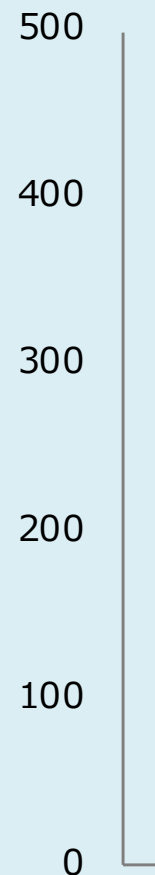
## 製品ライフサイクル全体での環境負荷





## GHG排出量

(万t-CO<sub>2</sub>e)



目標

2030年 ▲30%以上 (2013年度比)

2050年 カーボン・ニュートラル

### 1st STEP 既存技術を中心とした削減

- 自家発電低炭素化 ▲30万t
- 購入電気非化石化 ▲10~20万t
- プロセス改善・革新等 ▲10~20万t
- 事業ポートフォリオ転換等

### 2nd STEP 新たな技術を中心とした削減

- 電気/蒸気 グリーン化 (アルカリ水電解、CO<sub>2</sub>分離・回収)
- プロセス革新の推進
- 事業ポートフォリオ転換の推進等

カーボン・  
ニュートラル

2020年

2030年

2050年



投資採算計算での活用  
(10,000円/t-CO<sub>2</sub>e)

インターナル  
カーボン  
プライシング

削減推進  
プロジェクト  
体制

施策の検討、推進

GHG  
削減

製品ごとの算定

カーボンフット  
プリント\*への  
取り組み

サステナビリティ  
投資枠等設定

サステナビリティ  
推進への資源配分

\*原料の採掘～製品の出荷（もしくは顧客への納入）までの、製品のCO<sub>2</sub>排出量

## 1 水力発電所の積極活用

- これからの100年に向けて、九州地区の水力発電所（9カ所）の更新/強化を順次実施（グリーンボンドも活用）



五ヶ瀬川発電所

## 2 太陽光発電の活用拡大

1. 自社工場での太陽光発電の実施
2. ヘーベルメゾンの太陽光発電電気のグループ内活用拡大

- 川崎製造所での利用開始（2020年8月）
- 本社（日比谷、神保町）での利用開始（2022年4月予定）



AsahiKASEI  
旭化成ホームズ

太陽光で発電した  
再生可能エネルギー  
(環境価値含む)



火力を中心とした  
電力



旭化成ホームズ  
由来の環境価値



AsahiKASEI 旭化成ホームズ



東京ミッドタウン  
日比谷



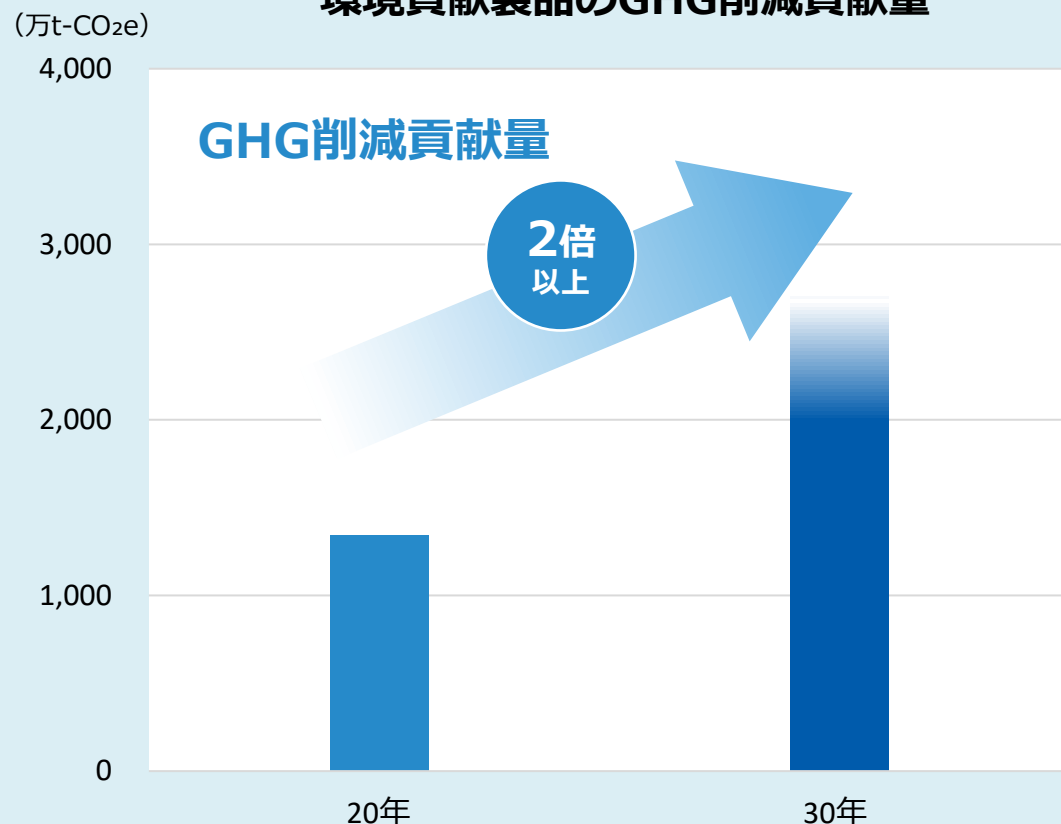
神保町三井  
ビルディング

## 目標

2030年度に

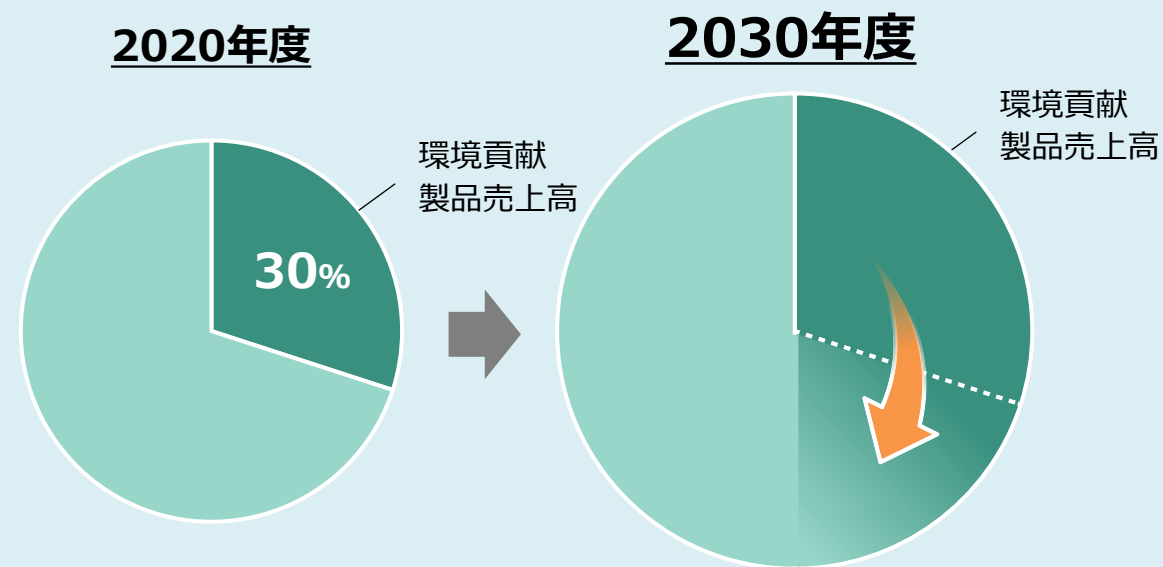
- GHG削減貢献量を2倍以上
- 環境貢献製品の売上高比率の向上

### 環境貢献製品のGHG削減貢献量



※GHG削減貢献量は社外の有識者の意見に基づくLCA観点での当社独自算定

### 環境貢献製品の売上高比率 (ヘルスケア領域を除く全社売上高における\*)



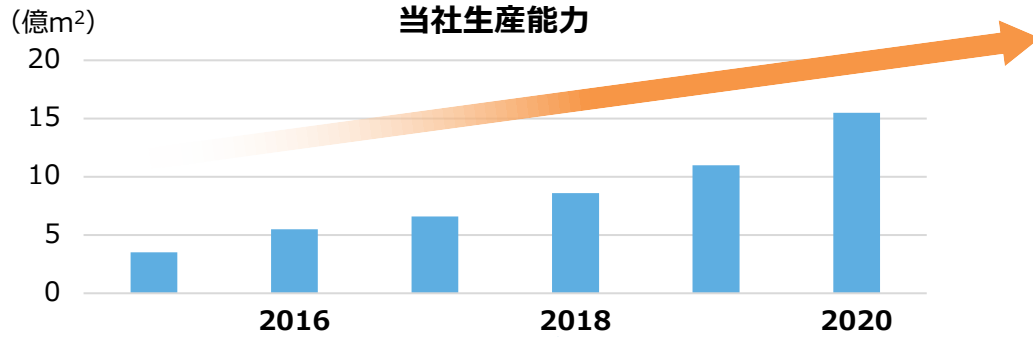
\*「ヘルスケア」は Care for People の観点での価値を追求する



## リチウムイオン電池用セパレータ

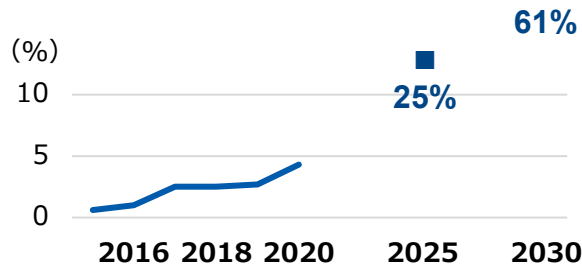
蓄エネ

低炭素化



車載向けが成長をけん引

### 電動車(BEV,PHEV)販売シェア



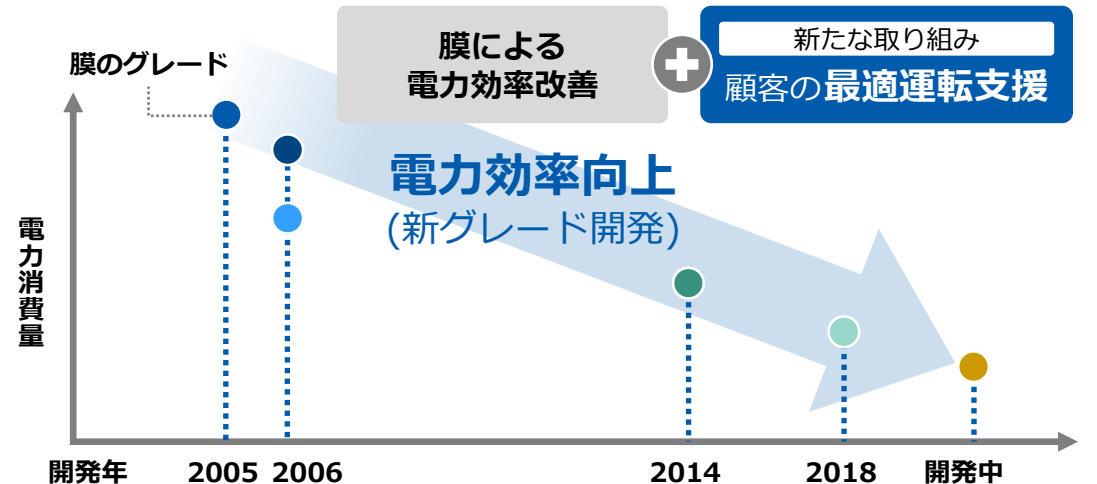
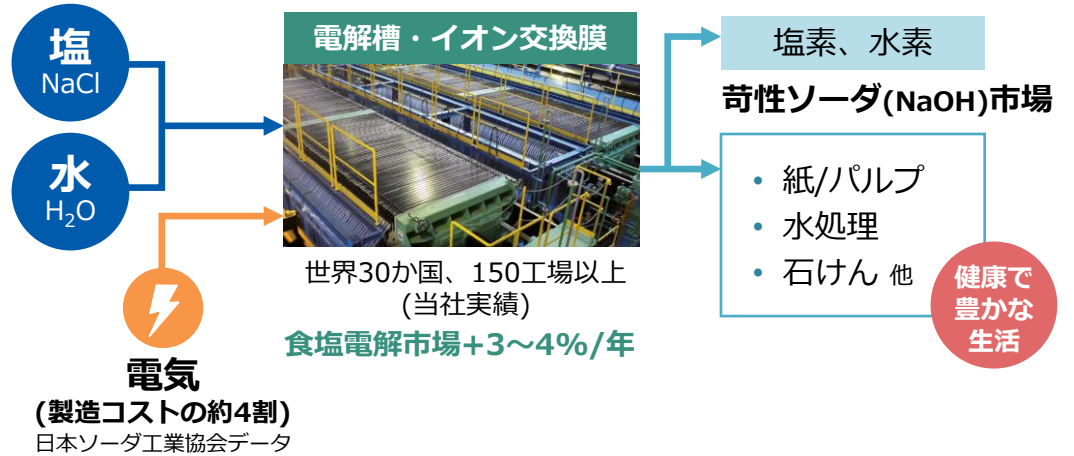
カーボン・ニュートラルへの  
IEA (国際エネルギー機関) による見通し

### 各国の方針・目標

- 2030年新車販売
  - 米 電動車50%以上
- 2035年新車販売
  - EU ゼロ排出車100%
  - 日 中 環境対応車100%

## イオン交換膜法食塩電解プロセス

省エネ



## ヘーベルハウス ヘーベルメゾン

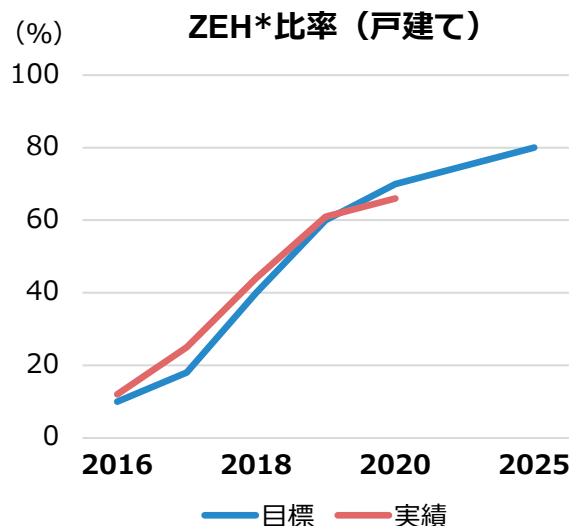
省エネ

省資源

### ● 長寿命

- 基本躯体構造の耐用年数60年以上
- 60年間にわたる無料点検

### ● 省エネ・太陽光発電

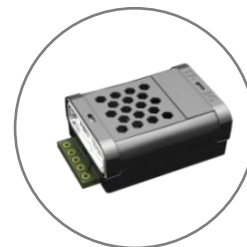


集合住宅でも  
ZEH基準を推進  
(ZEH-M)

\* net Zero Energy House 高断熱化、省エネ、太陽光発電等の創エネにより、エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロ以下となる住宅

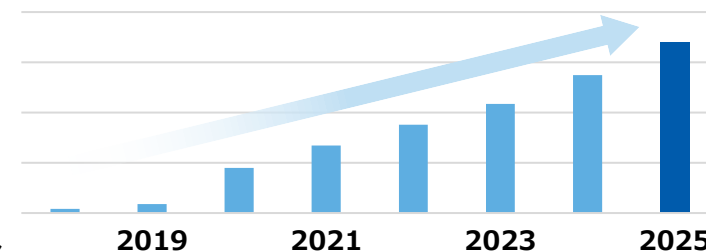
## CO<sub>2</sub>センサー

省エネ



CO<sub>2</sub>センサーモジュール

### CO<sub>2</sub>センサー販売量推移



#### 現在の主要な用途



ビル等

空調システムへの組み込み

CO<sub>2</sub>濃度に応じた「最適換気」

省エネ

#### 今後期待される用途



電動車

最適換気による省エネ  
(電力消費抑制)

航続性の向上等  
(→EVの普及拡大)

低コストなグリーン水素

グリーン水素を活用した  
グリーンケミカル

グリーンイノベーション  
基金事業

2021~30年度  
基金事業規模 約750億円

「再エネ等の電力を活用した水電解による水素製造、  
グリーンケミカル実証」

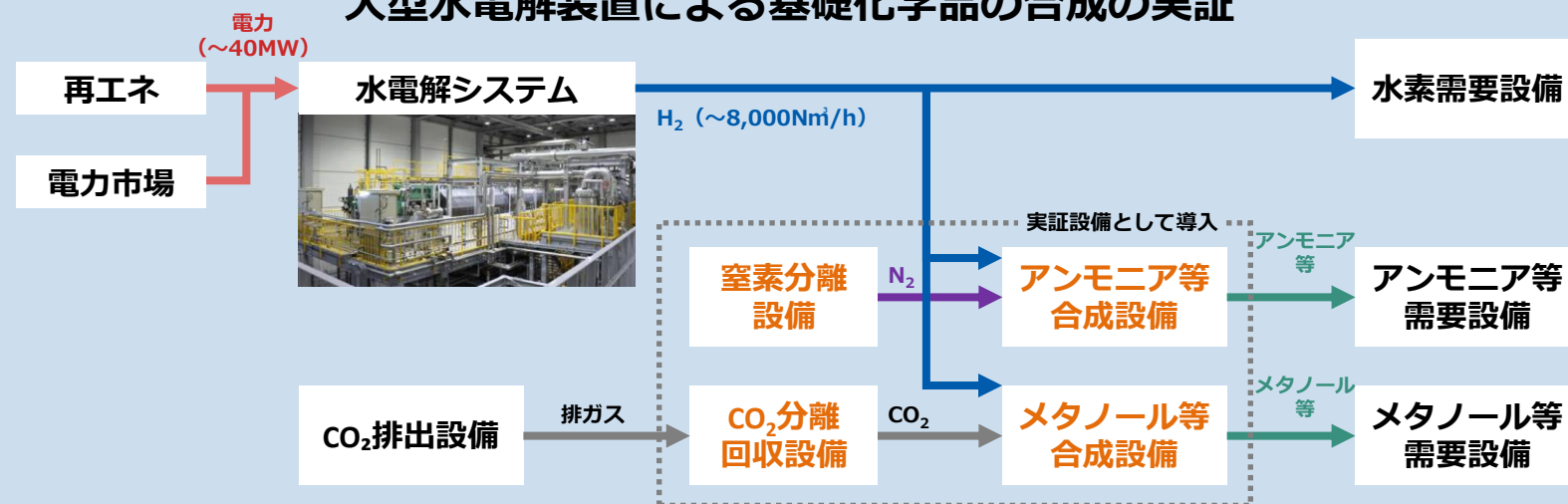
日揮ホールディングス株式会社との共同プロジェクト

Phase1

Phase2 (2027年度~)

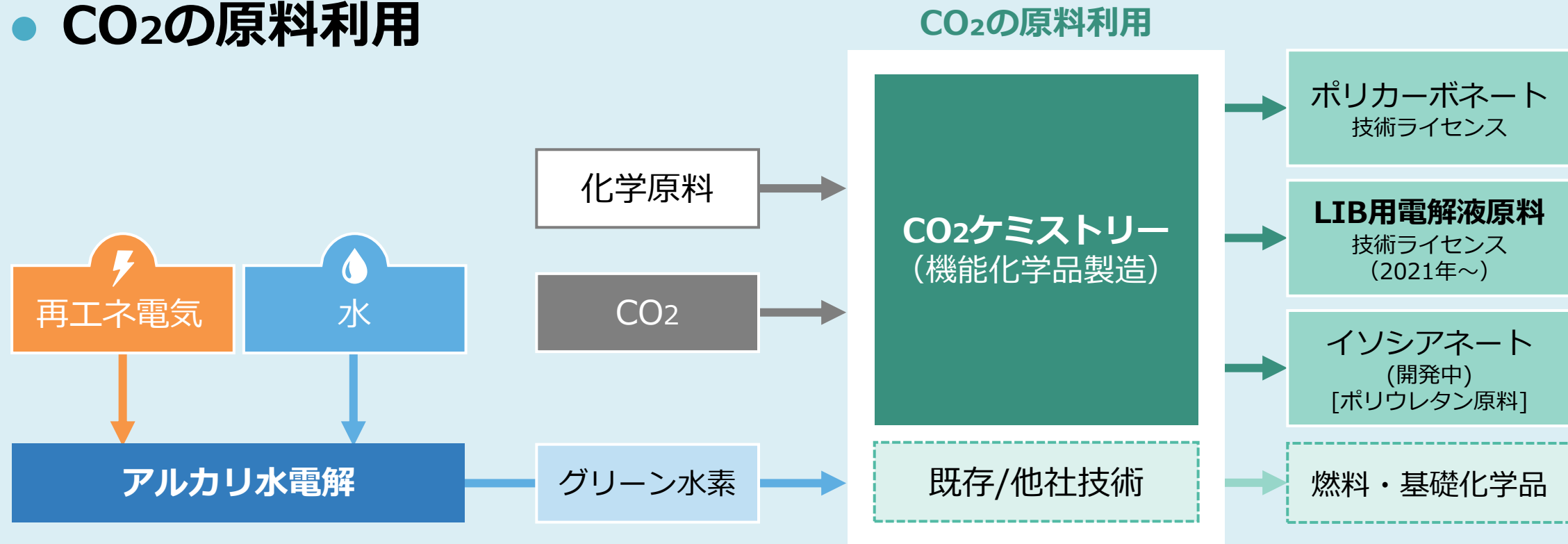
- 電解装置の大型化・モジュール化の技術開発
- 統合制御システムの開発(全体プロセスの最適運転)

## 大型水電解装置による基礎化学品の合成の実証





## ● CO<sub>2</sub>の原料利用



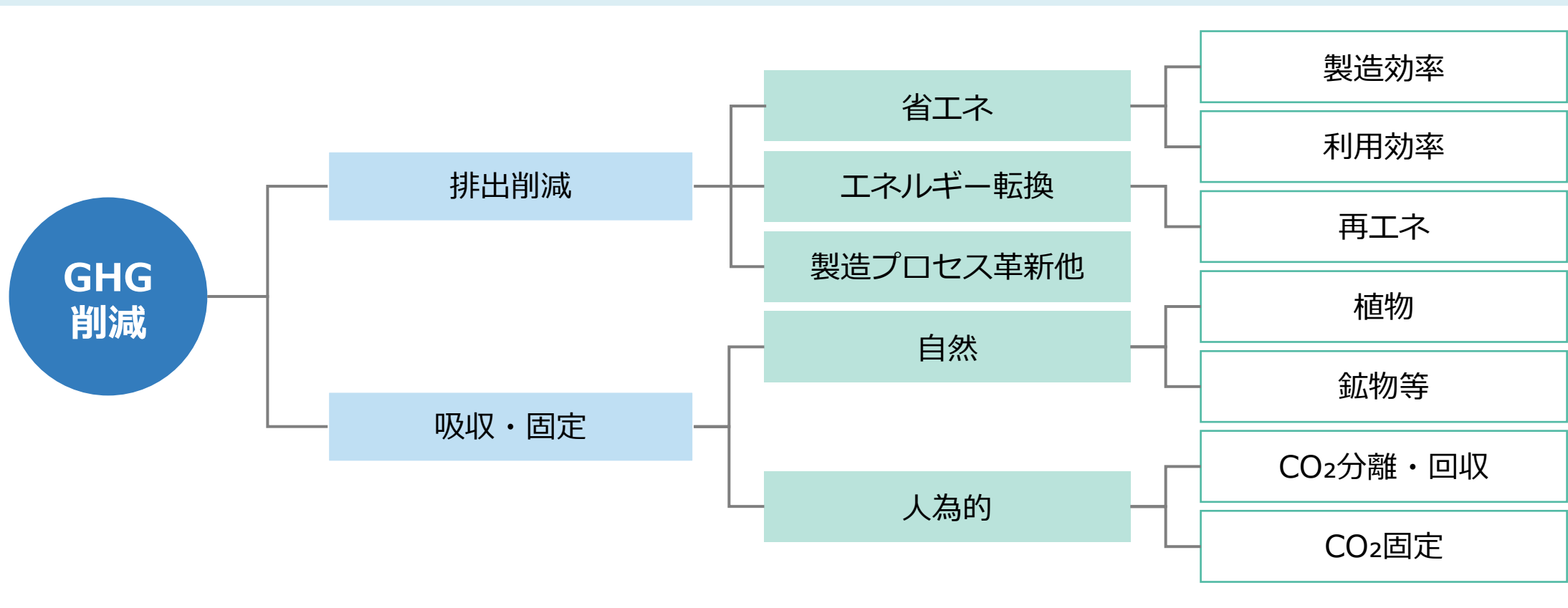
## ● CO<sub>2</sub>分離・回収 (混合ガスからのCO<sub>2</sub>の回収)

- ・ CO<sub>2</sub> & N<sub>2</sub> および CO<sub>2</sub> & CH<sub>4</sub> の混合ガスから CO<sub>2</sub> を吸着するゼオライトを開発
- ・ バイオガスでの実証を検討中

# さまざまな視点から 社会のGHG排出量削減に貢献する

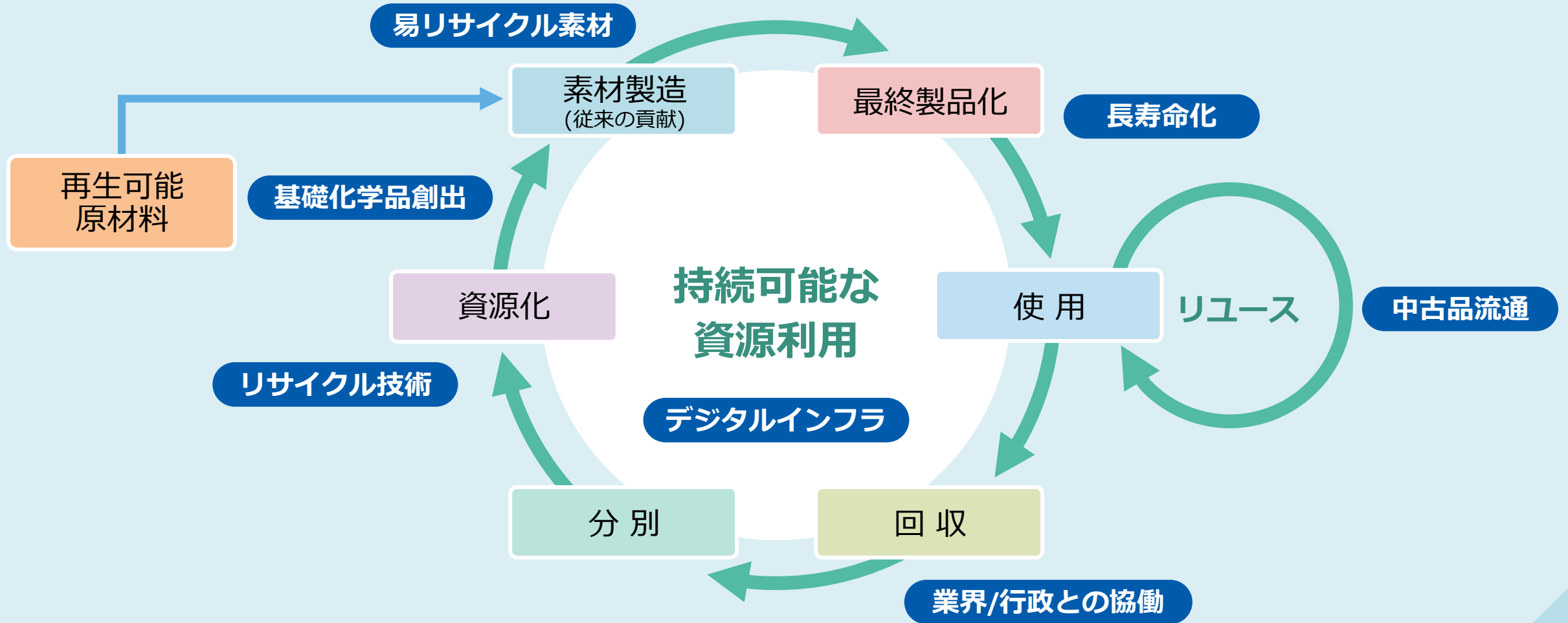
GHG削減

社会のGHG排出量削減への貢献



旭化成の多様な事業/技術

当社の主な貢献機会



### 既存のバリューチェーン

#### リサイクル技術

- ポリスチレン (PS)  
ケミカルリサイクル
- ポリエチレン (PE)  
マテリアルリサイクル

#### 原材料

- リサイクル材の活用
- バイオマス原料の活用

サーキュラーを促進する  
デジタルプラットフォーム  
**BLUE Plastics**



海外での  
実証も視野に  
展開を検討中

### 新たなバリューチェーン



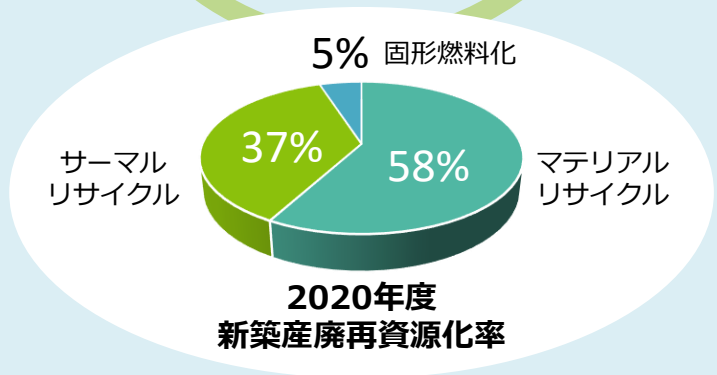
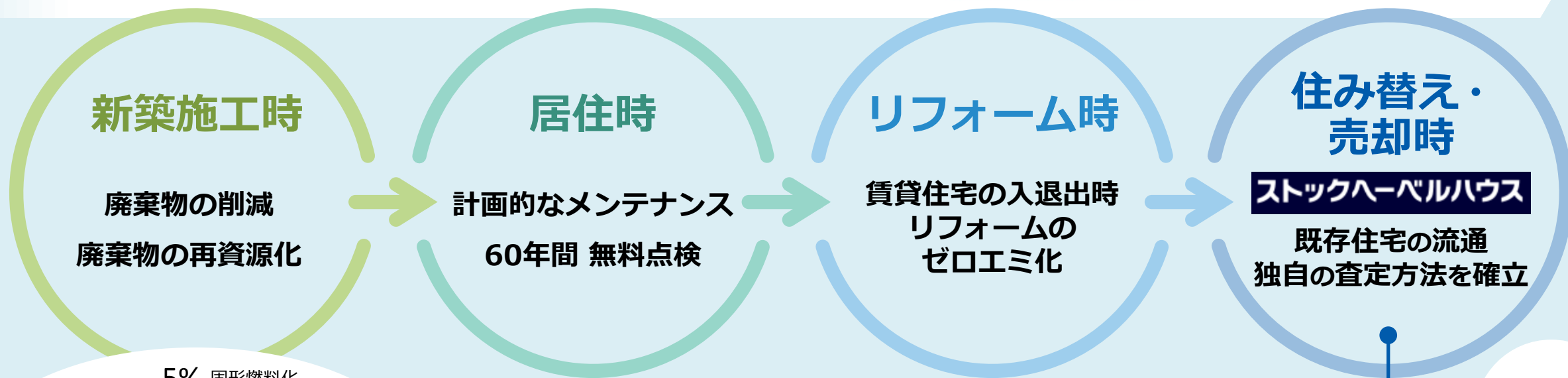
#### クラウド型生鮮品物流ソリューション 「Fresh Logi」

- 常温車による生鮮品輸送
  - ✓ 保冷ボックス再利用
  - ✓ 省エネ、フードロス削減



## 住まいの長寿命化、3R (リデュース & リサイクル & リユース)

### 住まいの長寿命化 ALL for LONGLIFE HEBEL HAUS



流通を促す

- my *DESSIN* (マイデッサン)
- 長期間住みやすく、将来売却しやすい普遍的な間取りを厳選
  - 住み替え時の買取保証サービス付き ※一部地域を除く





# 価値源泉の基盤

- **DX (Digital Transformation)**
- **知財**
- **人財**



# DXによる価値創出

## デジタルの力で「つなげる」「越える」「共に創る」



DX銘柄2021<sup>\*</sup>  
Digital Transformation



業務効率化、品質向上、  
解析、開発スピードアップ

### マテリアルズ・ インフォマティクス

人工知能や統計解析により  
素材の研究・開発を効率化



新たな価値創造、  
ビジネス革新をリード

### IPランドスケープ

新事業創出などのため、  
知財情報を見える化



当社グループ内に  
埋もれている価値を顕在化

### 生産技術革新

製品検査自動化、生産性向上、  
設備異常の予兆検知等

### カーボンフットプリントの 見える化

原料採掘から顧客に届けるまでの  
CO<sub>2</sub>の排出量を見える化

### ブロックチェーン技術

資源の循環を促進させる  
デジタルプラットフォームを構築

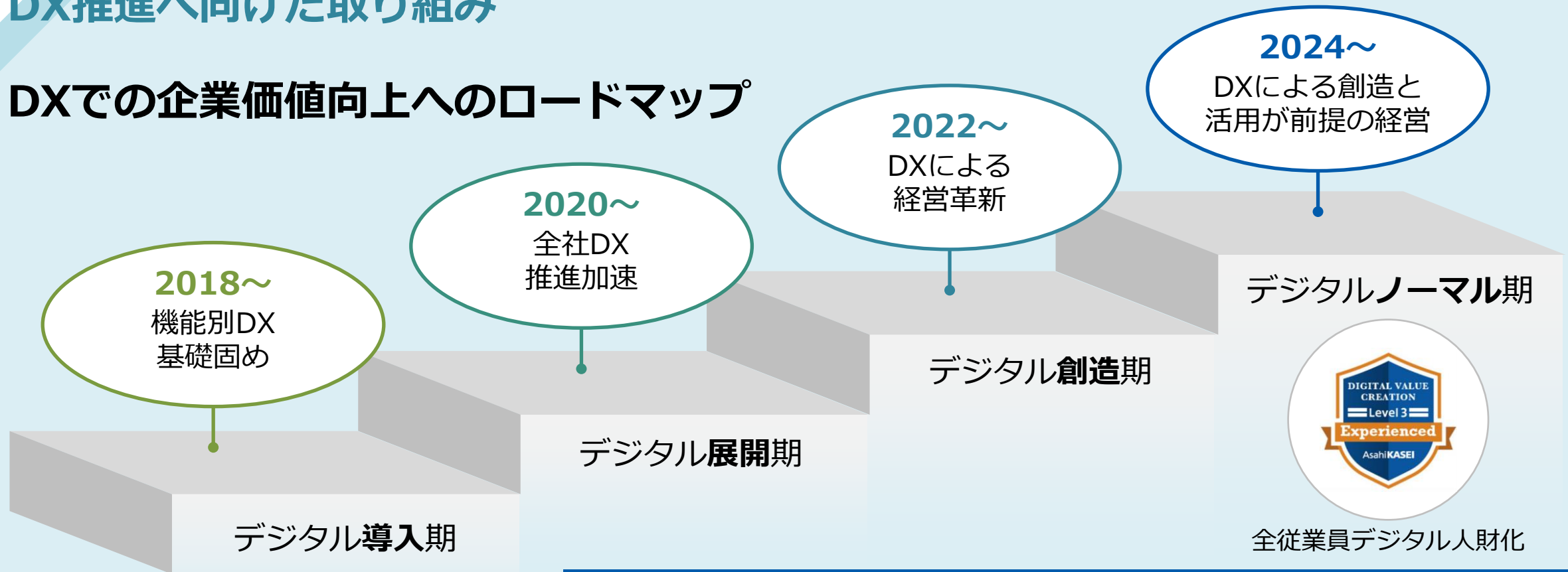
### 社内外との共創

社内外の交流の促進、  
DX基盤の強化とビジネスの創出

\* 企業価値向上につながるDX推進の仕組みを構築し、優れたデジタル活用実績のある企業を経済産業省/東京証券取引所が選定

# DX推進へ向けた取り組み

## DXでの企業価値向上へのロードマップ



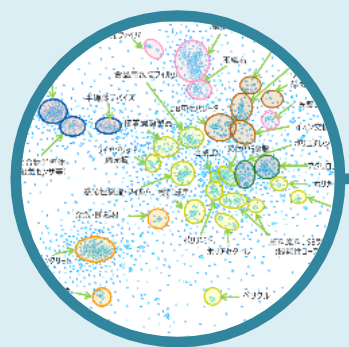
全従業員向け学習システム「旭化成DX Open Badge」スタート（2021年）

- Level 1 基本の理解
- Level 2 業務で活用するスキル、知識
- Level 3 **業務改善に活用可能 ← 全従業員の期待到達点**
- Level 4 事業の競争優位力強化
- Level 5 組織・事業の変革を牽引

# 知財による価値創出

当社の強みである“IPランドスケープ（IPL）”を活用し、新事業創出に向けた取り組みを実施

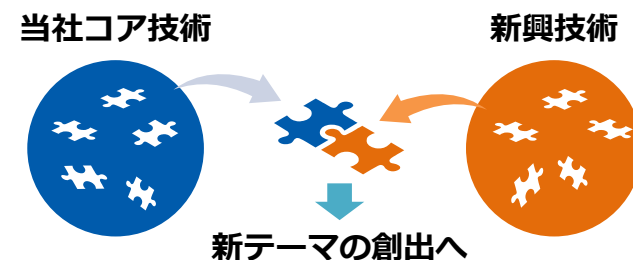
## ● 新事業創出に向けた取り組み例



IPLで培った  
情報解析スキル

### コア技術を活用した新テーマの創出

- ➡ 知財情報を用いた親和性分析により  
当社コア技術と新興技術をマッチング



### アイデア創発ワークショップ“IPL de Connect”

- ➡ 知財解析の共有を通じ、  
「多様な技術」「マーケティング機能」を  
「Connect」させ、イノベーション創出を促進

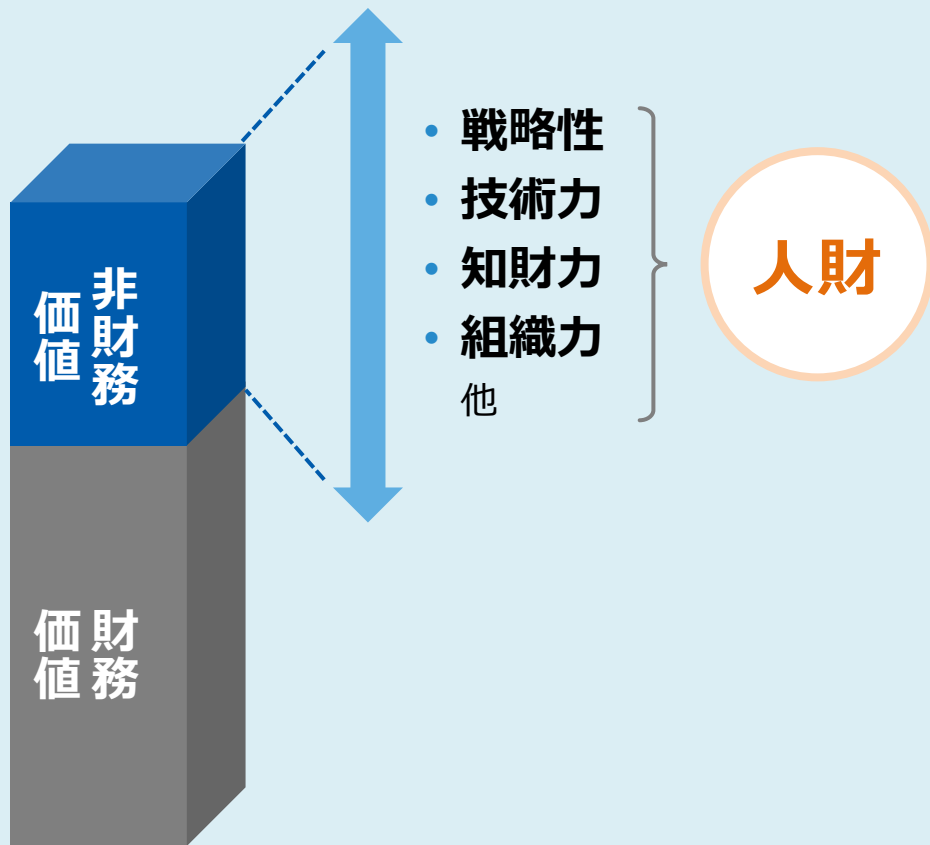


### 人財レコメンドシステム“SPACE”

- ➡ 特許の発明者情報等に基づき、  
社内人財検索(Connect推進)



## 価値創出の源泉たる「人」の 活力向上と成長を図る



## 新たなサーベイシステムを導入 (2020年)

多様な人財が  
活躍できる  
環境づくり

### 組織の健康診断

成長に繋がる行動

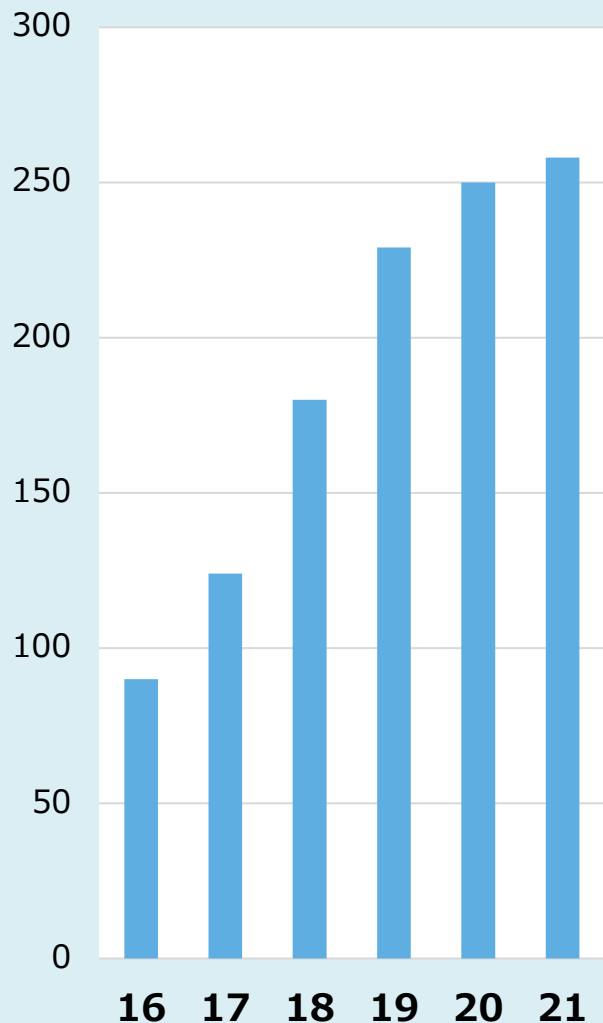
個人の活力  
(ワーク・エンゲージメント)

職場環境

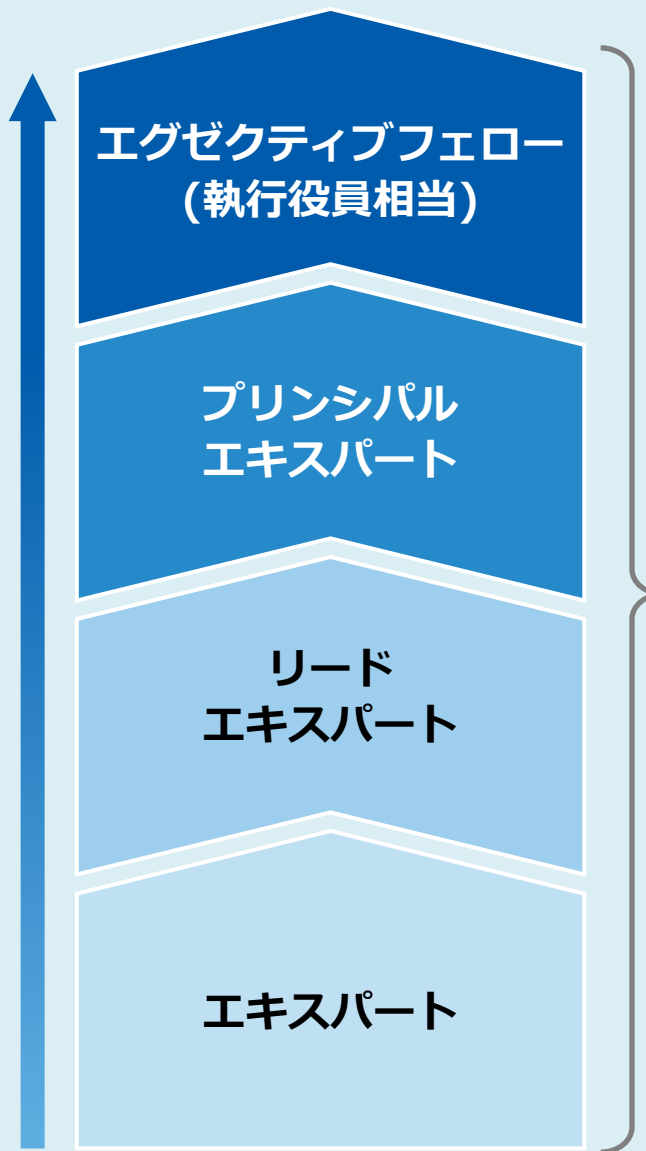


# 高度専門職制度 新事業創出・事業強化に貢献する人財を育成

高度専門職(人数)



専門性・処遇



## 事業部門固有領域

- 住宅
- マテリアル
- ヘルスケア

## コア技術領域

- 繊維
- 膜・セパレーション
- 電気化学
- ポリマー
- 化合物半導体
- 触媒・化学プロセス・無機合成
- 解析・CS
- プロセス開発・建設技術
- 製品設計・高度制御
- 設備技術
- デジタルイノベーション
- バイオ

## コアプラットフォーム領域

- 保安防災
- 品質保証
- 化学品管理
- 通商・関税
- 会計・税務
- 組織開発
- IT
- 知的財産
- 法務 など

## 従業員と家族の心身健康保持・増進により生産性を向上させ、持続的な企業価値向上に繋げる

| 主な重点項目           | KPIとする理由          | 2024年度目標* |
|------------------|-------------------|-----------|
| メタボリック症候群該当者率    | 生活習慣病の予防          | 30% 低減 ↓  |
| 喫煙率              |                   | 40% 低減 ↓  |
| 生活習慣病重症者率        |                   | 30% 低減 ↓  |
| メンタルヘルス不調による休業者率 | 長期休業の未然防止、活躍・成長促進 | 30% 低減 ↓  |

\* 2019年度対比

2020～21年度

- 健康経営体制整備
- 方針等の浸透
- 活動推進(国内主要拠点)

2022～24年度

- 活動拠点拡大
  - 国内：主要拠点の独立工場
  - 海外：グローバル展開開始

2025年度～

- 活動のレベルアップ
- グループ全体での健康経営定着
- ウェルビーイング経営への進化

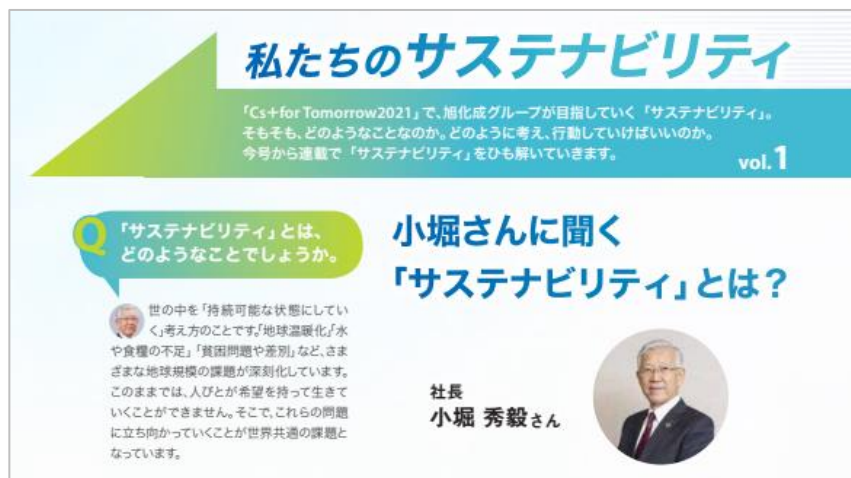
# グループ内でのサステナビリティ意識向上

## 2つのサステナビリティ実現に向けて自ら考え、行動を起こす

### サステナビリティを“知る”

#### サステナビリティ教育

階層別研修、担当者向け地球環境セミナー等を実施  
社内報やデジタルラーニングも活用



### サステナビリティについて“考える”

#### グローバル フォトコンテスト

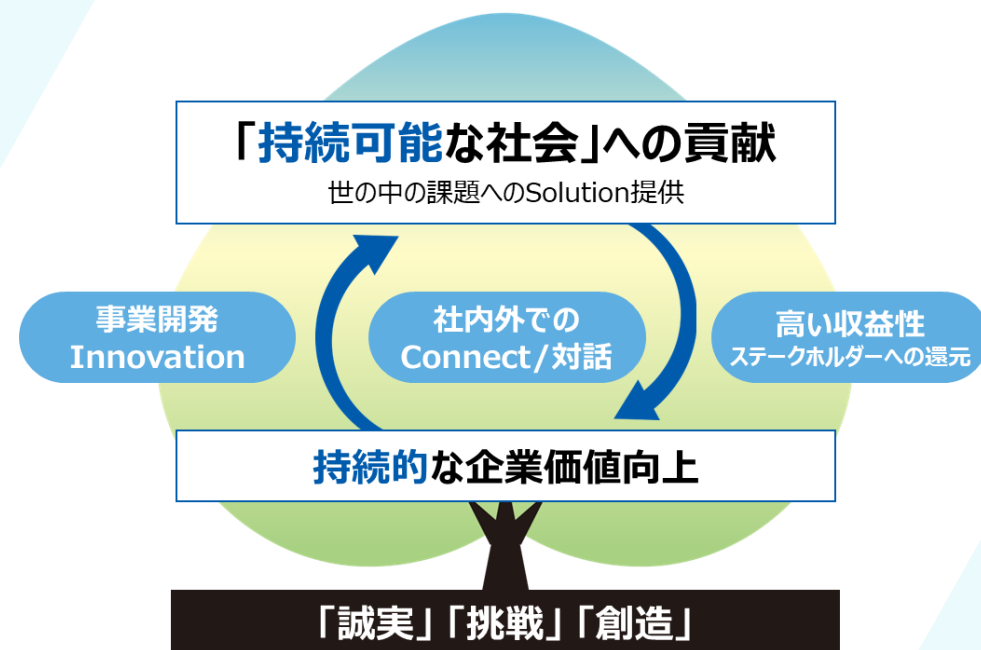
“サステナビリティ”をテーマに、全世界の従業員対象  
のフォトコンテストを開催



### サステナビリティへの“行動を促す”

評価制度への織り込み 等

# 終わりに



# デジタル技術を活用しながら、 サステナビリティを追求していく

## Green



Photo from Sage Automotive Interiors Spain

## Digital



## People



Photo from Asahikasei Plastics (Thailand)



# 昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、  
より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、  
次の時代へ大胆に応えていくために—。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

**AsahiKASEI**

# Appendix

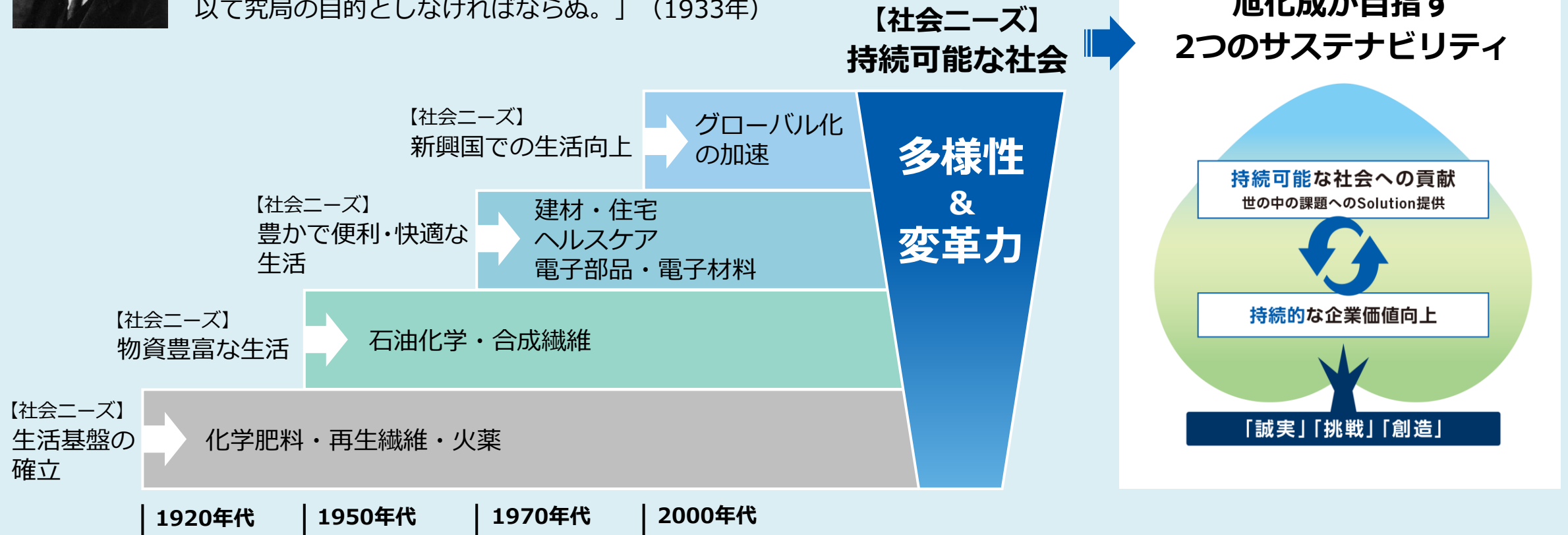


# 社会ニーズに応える（旭化成グループの「これまで」と「これから」）



## 創業者 野口 遵の思想

「吾々工業家は飽くまでも大衆文化の向上を念として、最善の生活資料を最低廉価に然も豊富に給することを以て究局の目的としなければならぬ。」（1933年）



社会ニーズを捉え、自ら変化しながら、より良い生活を支える事業を展開

# Care for Peopleへの取り組み

「Care for People（ニューノーマルでの生き生きとしたくらしの実現）」のためには、健康かつ長寿であること、そして安心して快適であることが重要。事業の強みを活かし、世界のアンメットメディカルニーズに対して、今後も注力していきます。

## アンメット・メディカル・ニーズへの対応



### 医薬品

旭化成ファーマ  
Veloxis Pharmaceuticals

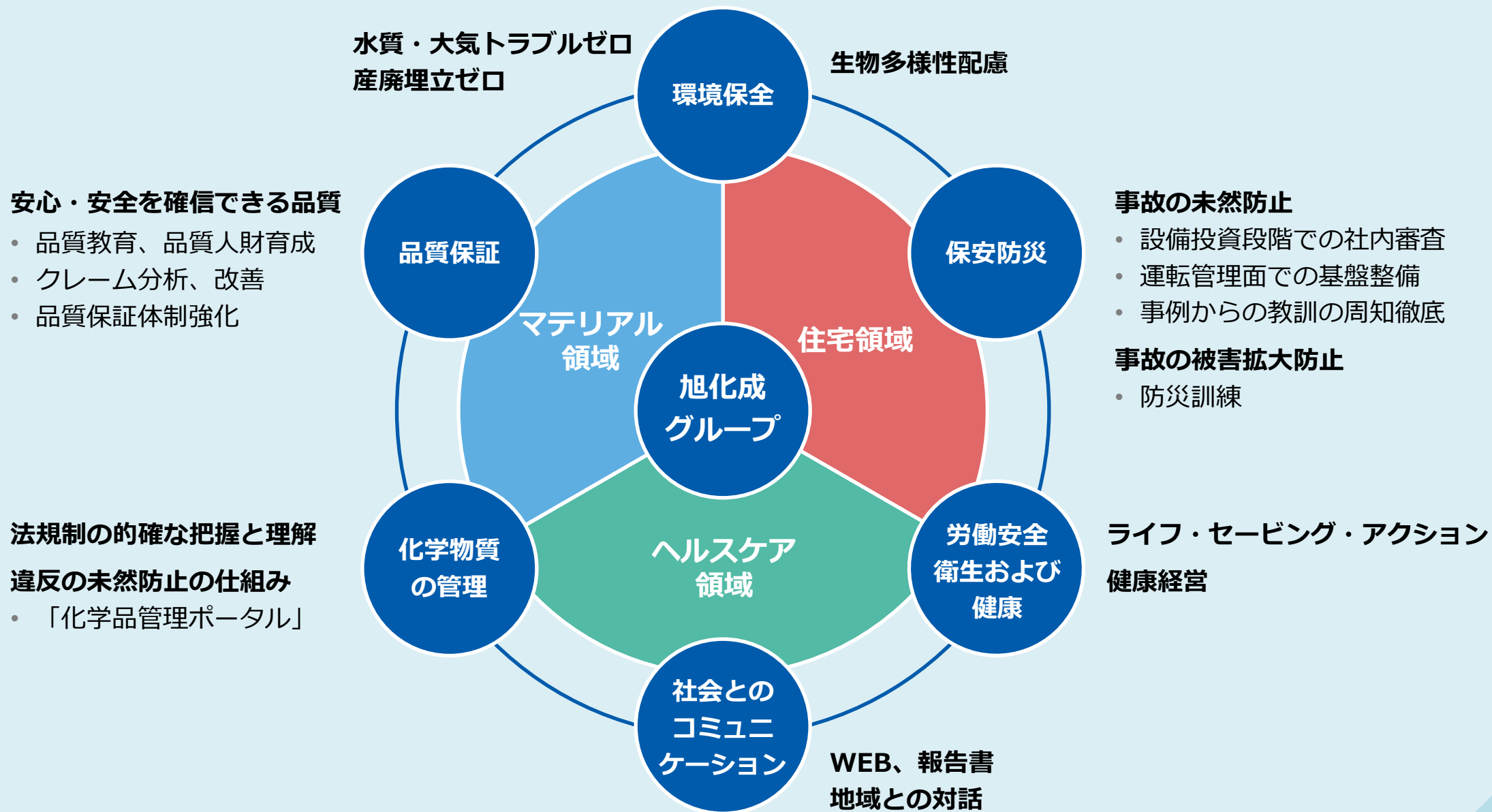
### 医療機器

ZOLL Medical  
旭化成メディカル

### ヘルスケアマテリアル

旭化成

# ESH(Environment, Safety, Health)、品質への注力







## 「旭化成グループ人権方針」

(取りまとめ中)

### 基本的考え方

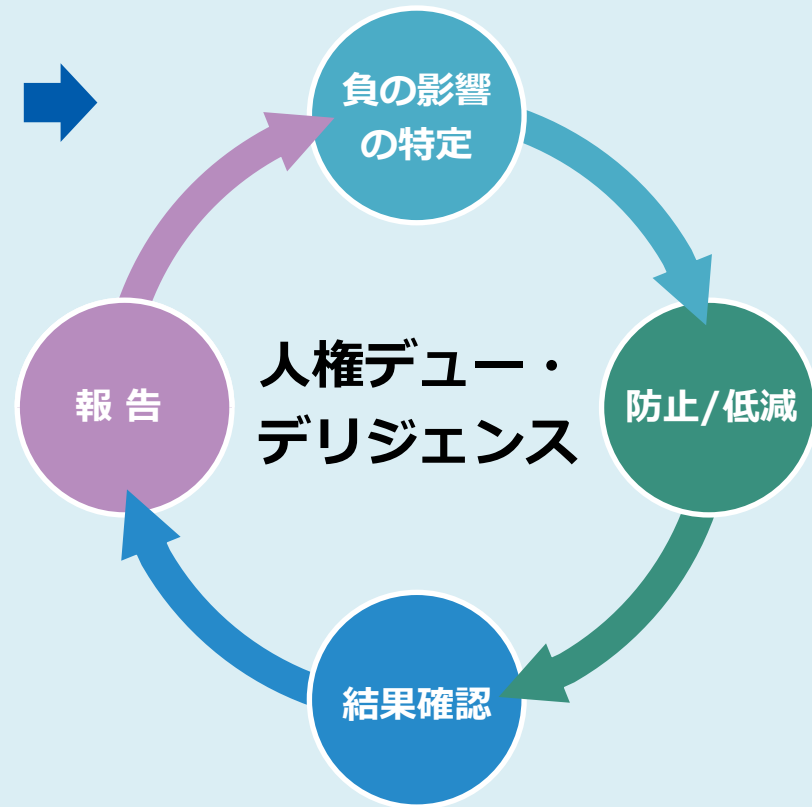
- バリューチェーン全体での人権尊重
- 国際規範の支持
- ビジネスパートナーとの協働

### 人権尊重の実践

- 法令遵守 (労働時間、賃金、安全衛生等)
- 強制/奴隷/児童労働の否定
- 差別、ハラスメント行為等の否定

### 人権尊重の推進

- 人権デュー・デリジェンスの実施
- 苦情処理メカニズムの整備
- 人権についての教育 など



## 旭化成グループ行動規範

旭化成集團行為規範

旭化成集团行为规范

Asahi Kasei Code of Conduct

BỘ QUI TẮC ỨNG XỬ CỦA ASAHI KASEI

จรรยาบรรณทางธุรกิจของอาซาฮีเคเอซี

AsahiKASEI

## 法令等の遵守と企業倫理の実践

旭化成グループは、国内外の法令の遵守や社内ルールの整備と適切な運用を徹底します。法令および社内ルールで判断できないときは、誠実性ある行動を徹底します。

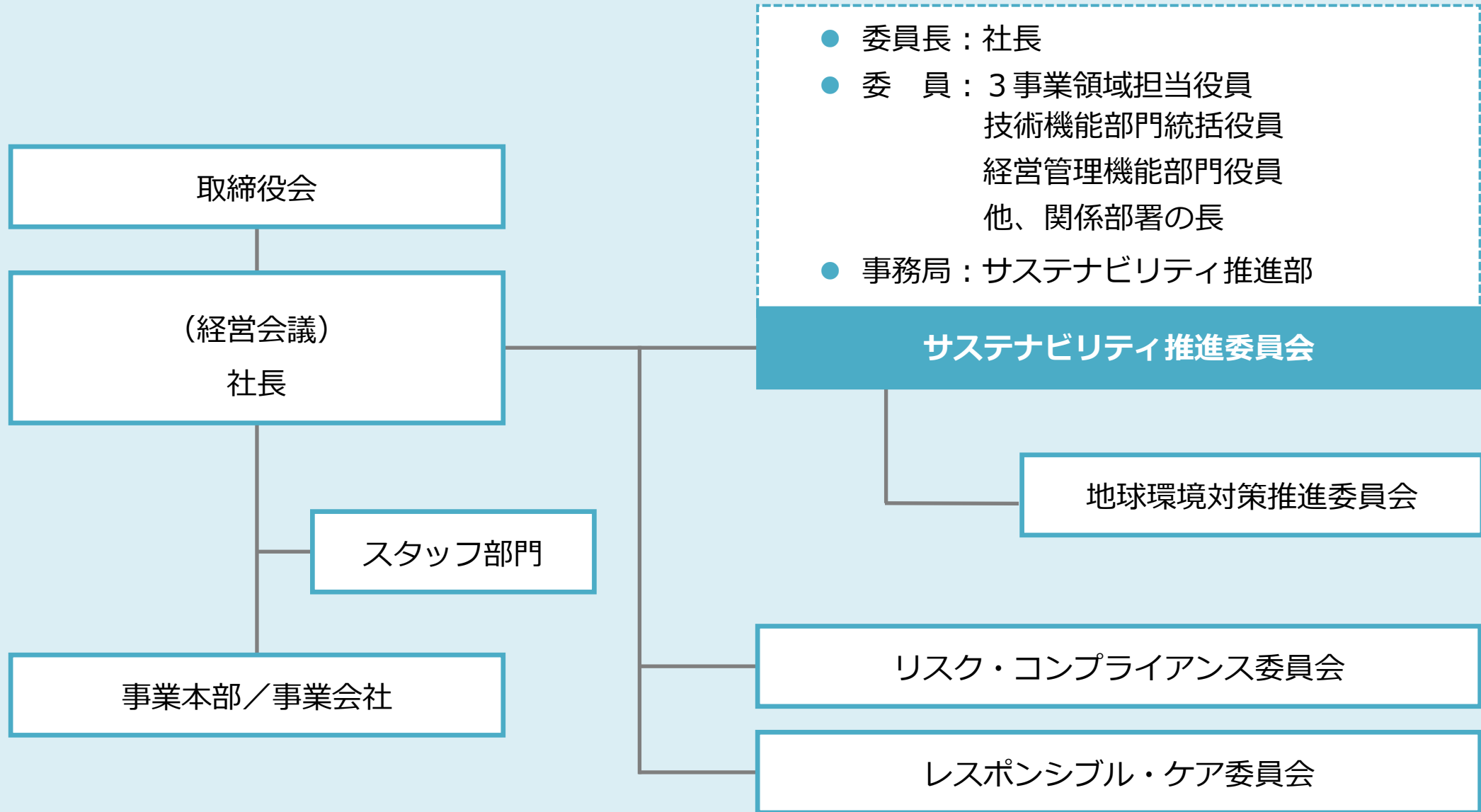
### 事例集や4コマ漫画を元に 各部場でディスカッション

Cs Talk  
リスク事例集

旭化成（株） 総務部 リスク・コンプライアンス室



# サステナビリティ推進体制



(2021年11月29日現在)

# 社外からの評価状況

| 評価機関                    | 指数・名称等                      | 旭化成の評価状況                    |
|-------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| MSCI                    | MSCIジャパンセレクトリーダーズ指数         | 構成銘柄として採用<br>AA (AAA~CCC)   |
| MSCI                    | MSCI日本株<br>女性活躍指数 (WIN)     | 構成銘柄として採用<br>6.7点 (最高10点)   |
| FTSE                    | FTSE Blossom<br>Japan Index | 構成銘柄として採用<br>3.4点 (最高5点)    |
| S&P                     | S&P/ JPX カーボン・エフィシエント指数     | 構成銘柄として採用                   |
| SOMPO<br>アセット<br>マネジメント | Sompo Sustainability Index  | 構成銘柄として採用                   |
| CDP                     |                             | 気候変動 A- (A~D)<br>水 A- (A~D) |

## 参加している 主なイニシアチブ

Global Compact

BUSINESS CALL  
TO ACTION



Clean Ocean Material Alliance



「ホワイト物流」  
推進運動

賛同企業